



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3431 URL <http://www.miyaji-eng.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩倉 健雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 越後屋 秀博

TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,823	△35.2	673	△64.6	702	△62.6	664	△56.5
23年3月期第3四半期	21,337	△20.7	1,904	2.6	1,880	7.2	1,528	△3.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 587百万円 (△56.4%) 23年3月期第3四半期 1,346百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	9.76	—
23年3月期第3四半期	22.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,787	11,409	39.6
23年3月期	33,370	10,839	32.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,409百万円 23年3月期 10,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△25.3	400	△85.0	300	△88.5	300	449.9	4.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	69,194,543 株	23年3月期	69,194,543 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,100,664 株	23年3月期	1,099,510 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	68,094,435 株	23年3月期3Q	68,096,333 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況（連結）	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響などにより依然として厳しい状況のなか、生産などに緩やかな持ち直しの動きが見られますが、欧州の政府債務危機を背景とした海外経済の減速や円高の進行・株価の変動、デフレの影響などにより、景気は依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である橋梁につきましては、当第3四半期連結累計期間の総発注量は持ち直しつつあるものの、激しい受注競争から価格面は引き続き厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループは、合併新会社の宮地エンジニアリング株式会社が有する製作・架設力などの総合エンジニアリング力を最大限活かし、合併シナジーを早期に発揮し、道路橋などの公共事業、鉄道橋・鉄構などの民間事業、合成床版などのFRP事業、保全・補修事業および海外事業に注力し、受注、売上、利益の安定確保の施策を継続的に推進しております。

当第3四半期連結累計期間の受注高につきましては、激しい受注競争から引き続き橋梁の価格が低水準で推移し、民間工事も低迷するなか、積極的に営業活動を展開した結果、133億20百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事量が減少したことおよび一部工事の遅れなどから、138億23百万円（同35.2%減）となりました。

損益につきましては、引き続き生産の効率化ならびに外注費・労務費をはじめとした全社挙げてのコスト削減の施策効果はあったものの、売上高の減少の影響は大きく、営業利益は6億73百万円（同64.6%減）、経常利益は7億2百万円（同62.6%減）、四半期純利益は6億64百万円（同56.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は、前連結会計年度末と比較して45億82百万円減少し、287億87百万円となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金が33億82百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して51億53百万円減少し、173億77百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金が25億78百万円、および短期借入金が7億92百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して5億70百万円増加し、114億9百万円となりました。主な要因は、四半期純利益6億64百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、今後補正予算の執行が期待されるものの、国内外の経済情勢の不安定さから、先行き不透明な状況が続くと予想されますが、現時点におきましては概ね計画どおり推移しており、平成23年5月18日に公表いたしました数値を変更しておりません。

今後もグループが保有する実績・技術力・架設力を活かし、技術提案力と積算精度を向上させ、総合評価落札方式への対応を図り、総力を挙げて受注の確保に努めるとともに、合成床版などのFRP事業、保全・補修事業および海外事業にも引き続き注力してまいります。

また、積極的に工事の採算性の更なる向上も図ってまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,254,434	5,193,820
受取手形・完成工事未収入金	11,939,050	8,556,227
未成工事支出金	339,717	400,733
その他	611,622	810,689
貸倒引当金	△6,950	△7,250
流動資産合計	19,137,875	14,954,220
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,374,729	8,374,729
その他(純額)	2,749,983	2,866,032
有形固定資産合計	11,124,712	11,240,762
無形固定資産	170,874	180,851
投資その他の資産		
投資有価証券	2,625,200	2,159,909
その他	414,411	332,317
貸倒引当金	△102,890	△80,505
投資その他の資産合計	2,936,721	2,411,722
固定資産合計	14,232,309	13,833,335
資産合計	33,370,184	28,787,556
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	6,311,894	3,732,980
短期借入金	8,760,000	7,967,740
未払法人税等	60,249	35,766
未成工事受入金	770,811	394,227
工事損失引当金	944,200	733,300
その他の引当金	327,910	174,647
その他	1,177,778	306,002
流動負債合計	18,352,842	13,344,663
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,504,337	2,213,913
退職給付引当金	1,486,621	1,464,099
その他の引当金	49,037	41,701
その他	137,870	313,296
固定負債合計	4,177,866	4,033,011
負債合計	22,530,709	17,377,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,234	3,746,234
利益剰余金	1,020,762	1,668,624
自己株式	△222,739	△222,846
株主資本合計	7,544,257	8,192,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155,621	△212,151
土地再評価差額金	3,139,596	3,430,019
その他の包括利益累計額合計	3,295,217	3,217,868
純資産合計	10,839,475	11,409,881
負債純資産合計	33,370,184	28,787,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
完成工事高	21,337,503	13,823,305
完成工事原価	18,146,174	12,029,574
完成工事総利益	3,191,329	1,793,730
販売費及び一般管理費	1,287,268	1,120,574
営業利益	1,904,061	673,156
営業外収益		
受取利息	2,698	1,672
受取配当金	53,462	79,794
スクラップ売却益	29,890	60,154
貸倒引当金戻入額	—	22,385
その他	48,134	26,205
営業外収益合計	134,185	190,212
営業外費用		
支払利息	103,485	87,891
シンジケートローン手数料	21,250	—
異常操業損失	—	59,849
その他	33,443	12,852
営業外費用合計	158,179	160,593
経常利益	1,880,067	702,775
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,184	—
完成工事補償引当金戻入額	2,000	—
固定資産売却益	1,392	4,541
投資有価証券売却益	131,006	—
受取保険金	—	45,015
その他	16,099	—
特別利益合計	159,682	49,556
特別損失		
災害による損失	—	46,988
事業構造改善費用	86,769	—
生産調整損失	67,540	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,086	—
その他	33,177	6,747
特別損失合計	244,575	53,736
税金等調整前四半期純利益	1,795,174	698,595
法人税、住民税及び事業税	424,885	38,126
法人税等調整額	△158,213	△4,060
法人税等合計	266,671	34,065
少数株主損益調整前四半期純利益	1,528,502	664,529
四半期純利益	1,528,502	664,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,528,502	664,529
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△181,588	△367,773
土地再評価差額金	—	290,423
その他の包括利益合計	△181,588	△77,349
四半期包括利益	1,346,913	587,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,346,913	587,180

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

① 生産の状況

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
橋梁	19,209,322	92.8	12,803,215	92.6	23,309,547	94.0
建築他	1,499,376	7.2	1,028,632	7.4	1,498,920	6.0
合計	20,708,698	100.0	13,831,847	100.0	24,808,467	100.0

② 受注の状況

(受注高)

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
橋梁	9,826,668	92.3	11,328,961	85.0	16,805,624	92.0
建築他	824,043	7.7	1,992,032	15.0	1,470,835	8.0
合計	10,650,711	100.0	13,320,993	100.0	18,276,460	100.0

(受注残高)

製品別	前第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月31日)		前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
橋梁	14,559,229	97.5	13,550,762	88.7	15,024,044	95.2
建築他	373,396	2.5	1,724,933	11.3	753,962	4.8
合計	14,932,625	100.0	15,275,695	100.0	15,778,006	100.0

③ 販売の状況

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		前連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
橋梁	19,833,362	93.0	12,802,243	92.6	26,347,503	93.7
建築他	1,504,140	7.0	1,021,061	7.4	1,770,367	6.3
合計	21,337,503	100.0	13,823,305	100.0	28,117,871	100.0

※ 橋梁とは、新設橋梁の設計・製作・現場施工、既設橋梁の維持・補修・補強、橋梁周辺鋼構造物、複合構造物の設計・製作・現場施工、プレストレストコンクリート橋梁、FRP構造物、その他土木事業であります。

建築他とは、大空間・超高層建築物、鉄塔、煙突、工場建物、その他鋼構造物の製作・現場施工、既設構造物の耐震・免震工事、その他の事業であります。